

【住民投票条例】投票資格者名簿調製の課題

【住民投票の基本的な考え方と本市の特徴】

- 岸和田市の住民投票は、岸和田市の将来を左右する重要課題について、直接住民の意思を問うための制度であり、定住外国人を投票資格者に含めていることが特徴である。
※定住外国人とは、特別永住者と永住者、それらの人に加えて日本での在留資格があり、3年を超えて日本に住所を有する人をいう。
- 現行の地方自治制度では、間接民主主義が基本であり、直接民主主義である住民投票は、これを補完するもの。

【課題】

- 投票資格者名簿の登録日までに定住外国人（特別永住者及び永住者を除く）の確認作業が終わらない恐れがある。
※定時登録（毎年9月1日）及び投票時登録（住民投票実施時）いずれも
- 住民投票請求に必要な署名数を算出（定時登録）するために定住外国人（特別永住者及び永住者を除く）の確認事務が毎年発生している。
☛ 定時登録とは、岸和田市住民投票条例第7条第2項に規定する投票資格者名簿

【主要要因】

- 定住外国人（特別永住者及び永住者を除く）の3年要件を満たす確認
・ 本市が保有する情報だけでは確認できない。
他自治体への住民票の『公用請求』で対応しなければならない。
- 調査対象の人数は、H29：529人（岸和田市で3か月以上3年以下の外国人）
上記の者を昨年公用請求したデータと突き合わせし公用請求対象者を確定する。
公用請求対象者：H29：201人（78団体）※1人につき最大5回行った。

【他市の状況】

市町村名	定住外国人（特別永住者及び永住者を除く）の期間要件	定時登録	備考
神奈川県川崎市	3年（日本）	×	
神奈川県大和市	3年（日本）	○	
岸和田市	3年（日本）	○	
大阪府豊中市	3か月（本市）	×	
北海道稚内市	3年（日本）	○	登録は届出制
滋賀県野洲市	3年（本市）	○	
北海道北広島市	3年（日本）	○	登録は届出制
岩手県奥州市	1年（本市）	×	

【課題への対応】

- 定住外国人（特別永住者及び永住者を除く）の3年要件を満たす確認について

目標 本市が保有する情報だけで確認できるようにする。

（住民票の公用請求を不要にする。）

- 定住外国人（特別永住者及び永住者を除く）の期間要件を

「日本に3年」から「本市に〇年」に変更する。

⇒本市で登録されている情報だけで投票資格の有無の判断が可能となり、確実に期間内に名簿登録作業ができるようになる。

他市事例を参考に定住外国人（特別永住者及び永住者を除く）の期間要件と現行要件とを比較すると、以下のことが想定される。

《本市に3年とした場合》・・・野洲市と同様

- ・投票資格者が減少する可能性がある。
- ・日本文化等への理解度は同程度（一定以上あるもの）と考えられる。

《本市に1年とした場合》・・・奥州市と同様

- ・投票資格者が増加する可能性がある
- ・日本文化等への理解度の低い方の割合が高くなる可能性がある。